

※ 数値等は全て速報値のため、  
今後変更される可能性があります。

## 概 要

- 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域において土石流が発生。
- 同日1230、陸上自衛隊第34普通科連隊長（板妻）は、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 7月4日（日）、陸上自衛隊及び航空自衛隊の総計約430名の態勢により活動を継続。このうち、現地において約280名の隊員及び災害救助犬5頭により人命救助活動等を実施。

## 自衛隊の主な活動

### 活動状況

#### 1 人命救助活動

- 0530以降、第34普通科連隊（板妻）、第1戦車大隊（駒門）及び第1施設大隊（朝霞）の人員約200名により、重機4両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×1、バケットローダ×1）を用いた人命救助活動等を実施。
- 航空自衛隊の人員13名及び災害救助犬5頭が順次現場に到着し、人命救助活動等を実施。

#### 2 情報収集等

- 0905以降、陸上自衛隊及び航空自衛隊のドローンにより、被災現場の情報収集及び映像伝送を実施。
- 東部方面航空隊（立川）のUH-1×1及び第1飛行隊（立川）のUH-1×1が航空偵察を予定していたものの、天候の影響により飛行できていない。

#### 3 連絡員の派遣

- 静岡県庁に2名、熱海市役所に9名の連絡員を派遣。

## 位置関係図



## 活動状況



駐屯地からの出発



偵察



警察・消防との調整



安否確認



避難誘導